

【素案説明会の実施概要】

- 1 説明会開催日 ①令和5年5月31日(水) ②令和5年6月3日(土)
- 2 開催場所 ①グリーンホール小ホール ②教育会館301・302研修室
- 3 参加者数 ① 4人 ② 3人
- 4 主な意見と市の回答(下記のとおり)

No	質問・意見の概要	回答内容
1	今日初めて資料を見て、御説明いただいたが内容がなかなか頭に入らない。日常生活ではあまり関係のない内容なので、もう少しゆっくりわかりやすく説明していただきたいと思う。HPで説明会の案内があり、たくさん参加者がいるかと思ったが前回より少ない。検討委員として参加されている方などもいると思うが、こういった場には余程暇な人でないと来ない。計画内容が難しく、抽象的だと思われるのではないかな。	御意見にあるとおり、都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の内容については専門性の高いものであると認識しておりますが、現在に至るまで専門家の委員を交え、市民の皆様に分かりやすく伝えるために、構成や図面の表現方法等について議論してきました。いただいた御意見の内容につきましては、今後の参考とさせていただきます。
2	説明用資料の28ページの居住誘導区域、都市機能誘導区域図について、仙川駅の南の方にある赤い線で囲まれた部分は、外環もしくは崖線を示しているのか。外環は、今も危険な所である。陥没事故が起き、そこを土砂で埋めて上を作ろうとしていることを聞いている。外環道路上に住まいがある人は、住まいを移動するための費用が出るが、30cmでも届かない人は出ない。外環周辺は未だに揺れがあり、騒音もある。自分の家の下で何が起きているかわからないのは、恐怖だと思われる。市としての姿勢を教えてください。	説明用資料28ページで濃い赤の着色をした区域は、土砂災害特別警戒区域を示しております。この区域については御指摘いただいたように危険な箇所となっているので、都市機能誘導区域及び居住誘導区域から除いております。また、東京外かく環状道路の工事現場付近において発生した陥没事故については、事業者が適切に対応するものと認識しております。市としては、地域住民に寄り添った対応となるよう事業者に求めております。その他、いただいた御意見の内容につきましては、今後の参考とさせていただきます。
3	まちづくりという言葉がたくさん出てきているが、ひらがなでまちと表記されている。漢字だと整備などのハード面、ひらがなだと地域のコミュニティなどのソフト面を指すかと思うが、この計画に市民はどのように関係していくのか。最後の方に市民参加に関する記述があるが、具体的な内容をまちづくり条例と一緒に提供していただきたい。すべて具体的なことがないような気がする。例えば、まちづくり条例の中でまちづくり協議会をつくり、勉強会を実施するなど記載できないか。中心市街地である調布には、駅前広場や行政施設、文化施設、商業施設、金融施設などが集まっているため、みんな調布に来ることが多い。小学5年生はグリーンホールで舞台に立つことがあり、必ず訪れる場所である。駅前広場に関するまちづくり協議会をつくりたいと相談したが、地権者でないと構成メンバーになれないとのことであった。調布駅前広場をどうしたいかなど、誰もが関心があるテーマであっても、地権者以外の参加は認めていないというのはどうなのか。市民には計画を発表するだけで、市民はそこで内容を初めて知り、驚いたりする。これからの時代では、利用者である市民に最初の段階から参加していただくべきではないか。そこで市民の希望を聞き、計画を立てていくことが必要なのではないかな。市民参加をしていかないと、まちづくりはできないと思う。	市民参加については、説明用資料では紙面の都合上詳細に記述しておりませんが、素案の第1編第6章において、「住民発意のまちづくり」や「共創によるまちづくり」などに関する考え方を記述しております。
4	図面について質問させていただきたい。8ページ(説明用資料)の交通関連方針図について、凡例に道路の体系的な整備として事業中、整備済とあるが、鉄道のところを見ると破線になっているため、道路なのか鉄道なのかかわからないところがある。	御意見いただいたとおり、鉄道線については、道路線と類似していたため、線の太さや形状について修正いたします。
5	23ページ(説明用資料)の南部地域の図面について、都市機能誘導区域のところをハッチで書いており、国領駅周辺は大体センターで塗られていると思われるが、狛江通りはセンターではなく南側にずれている。28ページ(説明用資料)の大きな図面で見ると、センターで塗られているように思う。都市機能誘導区域の範囲がずれているのではないかな。	御意見いただいたとおり、説明用資料23ページの南部地域の図面については、都市機能誘導区域の位置がずれておりましたので、修正いたします。
6	国領に住んで25年になるが、時間に余裕が生まれたため、初めてこういった場に参加させていただいた。この場に御関係者が9人もおられ、参加者が5人であるが、いつもこんなのか。衝撃を覚えた。先ほど、今日に至るまでにWSを10回、市民3000人を対象としたアンケート、有識者会議などいろいろやられていたが、本日の参加人数は少ないように思える。こういう状況は普通なのか。また、市長にこの状況はあがっているのか。いろんなPR方法があると思われる。市報は見ない方も多いと思うが、SNSなどで周知を図ってはどうか。	説明会の参加者については、個別事業の場合、身近な話であるため多くの方に参加いただける場合もありますが、都市計画マスタープランなど基本計画の場合は、市全体の大きな方針を示す計画であるため、参加者が少ない傾向にあります。また、説明会の開催結果については、ホームページ等で報告させていただいております。いただいた御意見の内容につきましては、今後の参考とさせていただきます。
7	計画の内容について、20年の計画ということだが、少子高齢化などが進んでいる中で、20年後を踏まえた計画となっているのかどうか疑問である。今ある団地は、20年後には使われているのか疑問である。団地ではなく公園にしてしまうなどの案もあると思うが、WSではどのあたりまで議論されたのか。	都市計画マスタープランの計画期間は20年としておりますが、社会情勢などを踏まえながら、必要に応じて10年後の中間見直しを予定しております。
8	財政の裏付けについて記載がないことも疑問である。あらゆる計画を進めるためにはお金が必要であるため、いくら必要なのか記載してはどうか。どうしても近隣の自治体と比較して見てしまうが、ここをこうしていきたいなどのPRを、具体的な金額と一緒に記載されてはどうか。こういった計画は、お金については書かないものなのか。裏付けがないとできない話であるため、そのプロセスは記載したほうがよいのではないかな。どこが重点なのか一般市民の方はわかりづらいと思われる。	都市計画マスタープランは、都市計画に関する基本的な方針を示すものであるため、財政的な裏付けについては記述しておりません。市では、調布市基本計画を策定しており、4年分の施策を位置付けて、財政的な裏付けを取ることであります。
9	これは市の計画であるが、上に国の計画がある。都なのか国なのかは市民にとっては関係ないため、都の管轄である道路などについても記載してはどうか。	本計画は、市の都市計画に関する基本方針を示すものです。道路整備については市だけで完結するものではないため、道路網計画を策定する際は東京都などと連携しながら検討を進めて参ります。
10	20年に一回見直すとのことだが、最後に5年ごとに達成状況を確認して見直すところがあるが、どうなのか。	都市計画マスタープランの計画期間は20年ですが、必要に応じて10年後の中間見直しを予定しております。また、立地適正化計画については、国の指針により5年に一度見直すことになっております。見直しの期間を定めているものの、両計画で連携をとりながら、適宜見直しを行ってまいります。
11	私はつつじヶ丘駅に出ることが多いが、駅までの道路環境が良くない。神代植物公園通りについての記載がないが、どのように考えられているか。	令和3年3月に、神代植物公園通り周辺の都市計画道路の見直し方針を公表し、その後、令和4年11月に市民の方々との意見交換(みちの井戸端会議)を実施するなど検討を進めております。また、都市計画道路の見直しを検討する区間については、素案89ページの交通関連方針図、197ページの北部地域将来地域構造図等に示しております。
12	(つつじヶ丘)駅まで行く道路が出ていない。北側から駅のところは、神代植物公園通りを通る必要があるが、事故が起きた際にどうしようもなくなる。真っすぐ北上する都市計画道路をつくるなどしていただきたい。また、ワークショップのときにもお話をさせていただいたが、逃げる道が複数ほしい。バスに乗っている際、事故が起きて途中で下車したこともある。ぜひお願いしたい。	つつじヶ丘駅北側の道路を含む地区内道路については、素案84ページ以降の交通分野の施策①で考え方を記述しております。いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。関係所管及び関係事業者と共有して参ります。

13	<p>深大寺城跡の周辺に建売がたくさん出来ており、農地が減ってきている。住宅とならないように、農地を残していただきたい。市街化調整区域のように法的に考えてはどうか。早くやらないとどんどん家が建ってしまう。市の財産であるため、しっかり保全していただきたい。</p>	<p>深大寺城跡周辺については、説明用資料9ページの環境関連方針図において、調布の森や、農の里を位置付け、農風景が多く残るエリアとしております。また、深大寺・佐須地域は農の風景育成地区に指定しており、里山の風景を保全する計画も策定しております。 都市計画マスタープランでは、市の資源である緑を守り育てていくことを方針として掲げ、緑の保全・活用などを施策としても記述しております。</p>
14	<p>メールの意見で下布田遺跡の重要性とそこに道路を通すことの反対意見を送ったのですが届いているのか。返事が何も来ないのだが。 下布田遺跡を縦断する道路計画(調布3・4・26号線)について、遺跡のど真ん中を通過する計画になっており、先日の下布田遺跡のオープンハウスでは、遺跡を避けるような案もいくつか提示されていたが改めて話しておこうと思い、メールを送った。下布田遺跡は非常に重要な遺跡であることは間違いない。重要文化財になることが決まっている。遺跡の内容が調布市にとって調布の発展にいろんな意味で寄与していただろうと考えている。まだ、いろんなところが調査を行っている途中で、終わっていないところがいろいろあるので道路を作り、掘り返してしまうと調査がそこで切れることになるのでそれは良くないと思う。 アンダーパス、オーバーパスという話があったが、もう一つの重要な点が崖線地区の遺跡であるということ。崖線の遺跡は調布市では何か所かあるが保存されているものは一つもない。なぜ崖線の遺跡が重要なのかというと、崖線から湧水が出ていた。それにより生活拠点がいくつもできていたのではないかとされている。その風景全体を見渡しながら縄文の頃の人々の生活が思い起こされるかもしれない場所はほとんど残っていない。特に道路を通そうと思っている場所は少し高台になっており、この高台が周りを見渡せる重要な場所である。この全体を鳥瞰できる場所が重要であるのでここに道路を通してしまうと全体が見えなくなってしまう。なので、オーバーパスはダメで、アンダーパスも掘り返してしまうのでダメ。改めてパブリックコメントに入れさせていただく。</p>	<p>いただいた御意見の内容につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。関係所管及び関係事業者と共有して参ります。</p>
15	<p>下布田遺跡と深大寺城跡が国の史跡としてある。国の史跡はいくつもあるわけではないのに調布市内には2か所もあるので、この歴史的環境を都市計画にどう反映していくのが課題であると思う。文化遺産や歴史的環境をどういう風に生活の中に取り込んでいくかを考えていかないとマスタープランをほかの都市と比較した際にどこに特徴があるのかということになると思う。 住む人の心の豊かさを大事にしてほしい。経済とか交通とかの記載があるが、長く住んでいくには心の部分でも豊かな環境を作っていかなければいけないと思う。深大寺城跡等の遺跡だけでなくいろんなお寺や神社を組み込んだ形で都市計画を作っていってほしい。</p>	<p>地域資源については、説明用資料14ページの地域活性化分野に記述しており、特に深大寺城跡周辺については「緑と歴史を活かした観光拠点の整備」を行う場所として方針図にも記述しております。 いただいた御意見の内容につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
16	<p>どういっしょにしていこうかということについて漠然としていて、どこの市でも同じことが言えるのではないかと内容しか書かれていないように感じたがどうなのか。例えば新宿区や渋谷区のような外から人が集まってくる商業的な街にしようとしているのか、郊外の住む人を中心とした街にしていこうかという分岐点があると思う。 今のお話を聞いていると、駅周辺は外部からの人を招き入れる場所になる、他のところは居住者が中心のまちになるように感じた。そうであるならばはっきりと打ち出して市民の皆様判断をしてもらった方がよいのではないかと。 将来都市構造図で丸がいっぱい書いてあったがはっきりと書いてくれないと街の輪郭が我々には見えないのでもう少し分かりやすくはっきりさせて欲しい。居住地の中にも生活のための商店街などの商業地は必要なわけですからそういうことを含めて書いて欲しい。将来都市構造図を見ただけと同じ丸のところは同じような都市ができてしまうと感じる。</p>	<p>将来都市構造図の拠点については、素案73ページ以降で拠点ごとの形成方針(どのような拠点にしていくのかという考え方)を記述しており、仙川駅周辺であれば、地域拠点として駅を中心に商業・業務・文化芸術・コミュニティ等の多様な都市機能の集積を図ることなどを記述しております。</p>
17	<p>まち全体としては居住誘導区域で人口を増やそうとしているのか。</p>	<p>市の人口については、将来人口推計によると、令和12年度をピークに人口減少することになっております。人口減少は可能な限り避けるという観点から、説明用資料31ページにおいて、拠点内の人口密度は維持していくという数値目標を掲げております。</p>
18	<p>まちづくりの方向の中に「文化」等の言葉がないのが残念。ハードで言えば街並みについての説明が今の話の中ではなかったが本冊には書いているのか。乱開発されるなどの問題があると思うのでメリハリをつけて高層化するとところとそうじゃないところと一朝一夕で出来るとは思っていないが、長期的な目標としてビジョンを掲げて欲しい。</p>	<p>都市計画マスタープランは、恒久的に持つべきまちづくりの理念や、都市計画の目指すべき将来像、基本的な考え方等を示すものです。</p>
19	<p>災害について、特に水害の多摩川の氾濫について、避難が非常に難しい。前回氾濫はしなかったが多摩川の水位が非常に上がったときに、どこが避難地域になるのかをみんなで調べて避難しようとしたがほとんど避難できないまま終わっている。避難所が開設されるのが遅かったり、開設されている数が少なくてそこにたどり着けなかったり、行くには足がなかったりで染地辺りの年寄りみんなあきらめていたというのが現状で、今後避難場所やルートをどんな風に検討しているのか。避難所の確保があるが、避難ルートや方法は管轄が違ってくるのか。 居住誘導区域に崖下も入っていたが、そういうところは垂直避難ができるようなまちづくりをするべきだと思う。つまり高層化。そういうことを都市計画で行い、単に居住を誘導するのではなく、高層建物を誘導するということをメリハリをつけて欲しい。今の避難所だと浸水区域に住んでいる人たちが入り切らない。富士見台小学校が浸水区域にあるのに水害の避難所になっている。すべての人が避難所に入りきれないので親戚や知り合いの家へ逃げろということが言われているがこれから水害の激甚化は避けられないので、すぐにはできないと思うが崖下の部分には5~6階の高層化した住宅を誘導し、いざというときは上に避難するという大きな方向感を出していただきたい。 現実に全員が避難したり、逃げるのには無理がある。神代小学校は前回の台風の時に人があふれていた。コロナなどと被ると余計に人を入れられなくなる。キャパ的に家に帰れない人が駅に滞留することも考えると無理がある。土地をかさ上げするのも経済的に無理があり、人が住まないようにするのも限界があるので4階以上にすると、今はできないのであっても誘導できるようにやって頂かないといけない。</p>	<p>防災については、説明用資料11ページの防災分野において考え方を記述しております。また、水害については説明用資料30ページに具体的な取組を記述しております。 いただいた御意見の内容につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。関係所管及び関係事業者と共有して参ります。</p>
20	<p>道路について、今の道路整備は自動車が優先である。その視点の転換が必要である。また、単に車道と歩道を分けるだけでなく、今は自転車やスケートボードなどいろいろなものがある。特に自転車について品川通りでは、あるところには自転車通行帯が整備されており、あるところには歩道の上に整備されているという状態のため、そこを高速で通過し、交差点などの自転車通行帯が切れるところにも高速で突っ込んでくる人がいる。国立みらいに3つ綺麗に分けるのは幅の問題があり、厳しいかもしれないが、自動車・自転車・歩行者が安全に歩ける道の整備を行っていただきたい。 車と歩行者の二元論ではない。通学の見守りをやっている朝はみんな急いでいるため自転車が飛ばしてくる。そこを子供が歩いているのが危ないと思いつつ見守っている。品川通りは、一部に自転車用のラインを引いてあることで自転車が飛ばすので余計に危なくなっている気がする。交差点等で、飛び出して突っ込んでいくため、待っている子どもなどが危ない。</p>	<p>道路整備については、本冊84ページ以降の交通分野で記述しており、施策④で交通環境の整備について、施策⑤で自転車通行空間の整備や自転車の利用マナーについて考え方を記述しております。 いただいた御意見の内容につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。関係所管及び関係事業者と共有して参ります。</p>